

酪農政策と経済 - セッション 2 -

このセッションのねらい
～日本の経験を踏まえて～



座長
前田浩史



一般社団法人 Jミルク

専務理事

酪農政策と経済 - セッション 2 -



座長

Sarah Paterson

Director of Policy and Advocacy,
Fonterra
Current Chair of IDF SC of DPE

セッションの狙い

アジアの国々から酪農産業の 成り立ち・現状・課題についての報告

酪農生産について

農場経営について

乳業産業について

牛乳乳製品の市場・消費について

それぞれの農業資産や
食文化を背景として
独自の発展を
遂げつつある
アジア各国

世界の酪農乳業の将来を展望

タイムテーブル

1

Ulla Holm, Ph.D (スウェーデン)

25分

Global Director, Tetra Laval AB, Food for Development Office.



2

Kevin Bellamy (オランダ)

25分

Senior Analyst, Rabobank, Food and Agriculture research team with responsibilities for the Dairy Sector, MBA.



アジアの国々の酪農産業の発展を
技術や金融面から支援する立場からの報告

タイムテーブル

3

Nevzat Artik, Ph.D (トルコ)

25分

Professor, Ankara University.
National Committee Secretary of IDF Turkey.



4

Altangerel Gombojav, Ph.D (モンゴル)

25分

Professor, Mongolia State University of Agriculture. Veterinarian.



Tsognemekh Bolormaa (モンゴル)

25分

Co-researcher with prof Gombojav,
student of Mongolian State University of Agriculture
at doctor's degree. Veterinarian.



乳を利用する食文化の伝統的な
歴史を持つ国からの報告

タイムテーブル

5

Ridwan Hardinsyah, Ph.D (インドネシア)

25分

Professor, the Department of Community Nutrition,
Faculty of Human Ecology Bogor Agricultural University



6

Zhang Jianqiu (中国)

25分

CEO, Inner Mongolia Yili Industrial Group Co., Ltd.



7

Prasit Boondoungprasert, CFA

25分

(タイ)

President, CP-Meiji Co., Ltd. Charoen Pokphand group



乳の利用が人々の生活に急速に
普及しつつある国からの報告

タイムテーブル

8

Sarah Paterson (ニュージーランド)

5分

Director of Policy and Advocacy, Fonterra
Current Chair
of the IDF Standing Committee of Dairy Policies and Economics



質問及びセッションの成果のまとめ

タイムテーブル

1	Ulla Holm, Ph.D (スウェーデン) Global Director, Tetra Laval AB, Food for Development Office.		アジアの国々の酪農産業の 発展を技術や金融面から 支援する立場からの報告	25 分
2	Kevin Bellamy (オランダ) Senior Analyst, Rabobank, Food and Agriculture research team with responsibilities for the Dairy Sector, MBA.		アジアの国々の酪農産業の 発展を技術や金融面から 支援する立場からの報告	25 分
3	Nevzat Artik, Ph.D (トルコ) Professor, Ankara University. National Committee Secretary of IDF Turkey.		乳を利用する食文化の 伝統的な歴史を持つ 国からの報告	25 分
4	Tsognemekh Bolormaa (モンゴル) Co-researcher with prof Gombojav, student of Mongolian State University of Agriculture at doctor's degree. Veterinarian.		乳を利用する食文化の 伝統的な歴史を持つ 国からの報告	25 分
インターミッション: 25 分				
5	Ridwan Hardinsyah, Ph.D (インドネシア) Professor, the Department of Community Nutrition, Faculty of Human Ecology Bogor Agricultural University		乳の利用が人々の食生活に 急速に普及しつつある国からの報告	25 分
6	Zhang Jianqiu (中国) CEO, Inner Mongolia Yili Industrial Group Co., Ltd.		乳の利用が人々の食生活に 急速に普及しつつある国からの報告	25 分
7	Prasit Boondoungprasert, CFA (タイ) President, CP-Meiji Co., Ltd. Charoen Pokphand group		乳の利用が人々の食生活に 急速に普及しつつある国からの報告	25 分
8	Sarah Paterson (ニュージーランド) Director of Policy and Advocacy, Fonterra Current Chair of the IDF Standing Committee of Dairy Policies and Economics		質問及びセッションの成果のまとめ	5 分

ディスカッションのポイントと 2つの論点整理



論点整理にあたっては、

以下の日本の経験を踏まえた

- ・同じアジア地域
- ・短期間の中での乳利用の食習慣がある程度定着
- ・酪農産業の急速な発展

ポイント 1

日本の酪農乳業産業

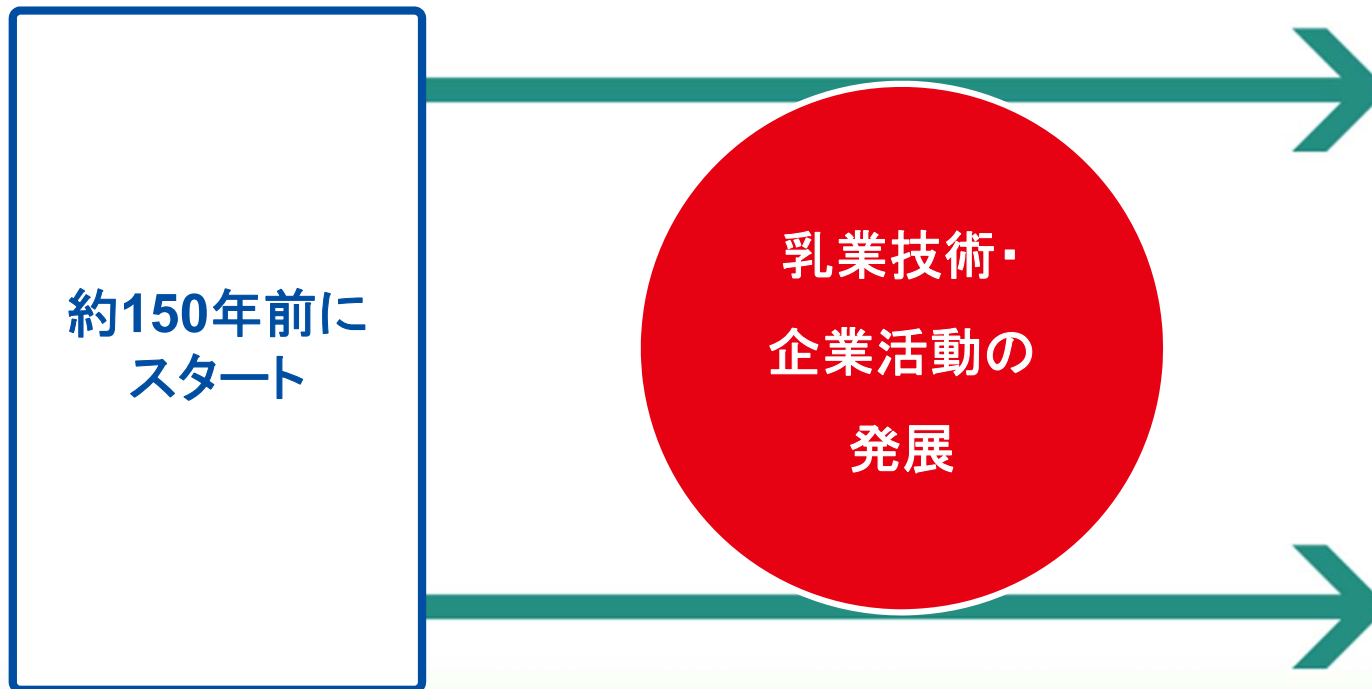
約150年前に
スタート

2つの要素

ポイント 1

日本の酪農乳業産業

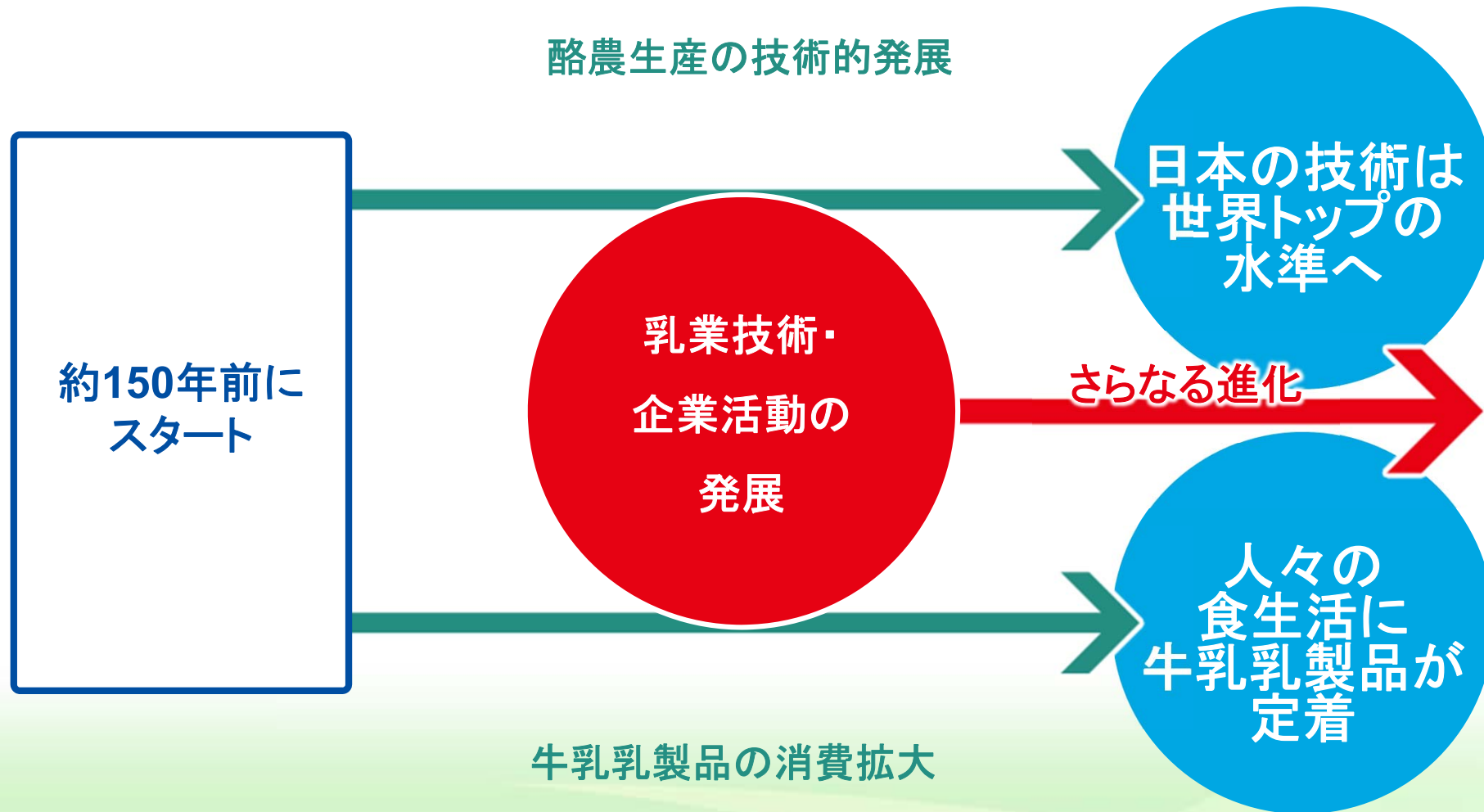
酪農生産の技術的发展
→農業生産や農村の変化



牛乳乳製品消費の拡大
→食生活の構造的変化

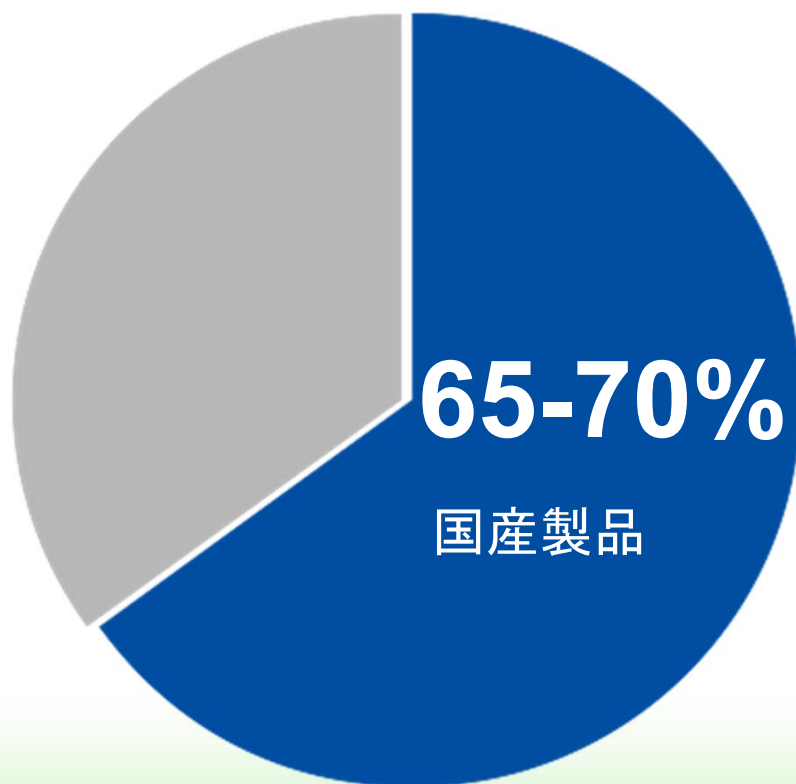
ポイント 1

日本の酪農乳業産業



ポイント 1

日本はチーズ等多くの乳製品を輸入



酪農生産の発展と
マーケットの発展において
アンバランスが発生



牛乳乳製品の国際市場が
アンバランスを埋める

ポイント 1

以上の観点から、
参加者の方々には
発表される国や地域の
酪農乳業の現状を自国の
酪農乳業の歴史の
位相と比較していただきたい。



ポイント 2

牛乳乳製品の消費構造を考える視点

視点

1

それぞれの地域や国々の食文化

視点

2

経済的发展に伴う食生活の構造変化

ポイント 2

視点

1

それぞれの地域や国々の食文化

乳を利用する文化が
古くからあった国

乳を利用する文化が
最近発達した国

農業生産活動の中に
乳の伝統的生産方式が存在

トルコ・モンゴル

ポイント 2

視点

1 それぞれの地域や国々での食文化

乳を利用する文化が
古くからあった国



農業生産活動の中に
乳の伝統的生産方式が存在

トルコ・モンゴル

乳を利用する文化が
最近発達した国



酪農生産に係る技術を
国の外側から短期的に導入

日本・中国・タイ・インドネシア

ポイント 2

視点

2

経済的発展に伴う食生活の構造変化

乳を利用する文化が
古くからあった国

乳を利用する文化が
最近発達した国

食生活の変化により

異なった乳文化を背景とする
牛乳乳製品との接点が拡大

乳利用の場面や方法の変化により
マーケットがどのように変化するのか？

ポイント 2

視点

2

経済的発展に伴う食生活の構造変化

乳を利用する文化が
古くからあった国



食生活の変化により

異なった乳文化を背景とする
牛乳乳製品との接点が拡大



乳利用の場面や方法の変化により
マーケットがどのように変化するのか？

乳を利用する文化が
最近発達した国



食生活の変化により

富裕層や若者から普及し
他の消費層にも徐々に拡大



日本では飲用牛乳の定着後、
チーズやヨーグルトの利用増加に
伴い、飲用牛乳の利用が減少した

ポイント 2

視点

2

経済的発展に伴う食生活の構造変化

乳を利用する文化が
古くからあった国

食生活の変化により

異なった乳文化を背景とする
牛乳乳製品との接点が拡大

乳を利用する文化が
最近発達した国

食生活の変化により

富裕層や若者から普及し
他の消費層にも徐々に拡大

牛乳乳製品の消費構造の変化は
酪農乳業の産業構造を変化させる



ご清聴ありがとうございました